

名曲レコードジャケット紹介
中9日まで
中央区

浜松市のレコード愛好家で作る「昭和のレコードを聴く会」は9日まで、懐かしの名曲のレコードジャケットを紹介する「レコードジャケット・アート展」(静岡新聞社・静岡放送後援)を同市中央区の静岡文化芸術大総合演習室で開いている。

1960～80年代を中心に歌謡曲やジャズ、ロックなどさまざまなジャンルの約300点をパネル展示している。同大が地域連携演習の一環として協力し、デザイン学科などの学生6人が展示するレコードの選定を行った。レコードの試聴会や会員による曲の解説も実施。会場に流れる懐かしいメロディーが来場者を楽しませている。

運営に協力した国際文化学科1年の松下琶音さん(19)は「アーティストの趣向が表れていて、どれもすてきなデザインだと感じる」と話した。



約300点のレコードジャケットが並ぶ展示会。浜松市中央区の静岡文化芸術大